



「AED」設置 しました!

**ホ号棟管理組合ではAED(自動対外式除細動器)を
管理事務室に入口に設置いたしました。**

9月26日(土)午後1時より緊急事態に対応できる様にメーカーから指導員を派遣していただき、取扱説明会を開催しました。

老若男女?31名の方にご参加いただき実際に機器を扱って訓練をいたしました。なかなか手際の良い方、少し不安のある方、色々な方がおられました。触って練習する事で現実の事態に対処する事が出来るようになると思います。今後もどしどし練習する機会を創っていきたいと思っていますので奮ってご参加下さい。



皆真剣に見聞きしていました。



AEDの音声を聞きながら、「1,2,3、…」

「AED」使用に際して

まずは呼吸、意識の確認

反応がなかったら

119番通報

それから初めて「AED」の準備です！

人が倒れているからといっていきなり「AED」を使用するわけではありません。救命処置には流れがあります。上記の順序を進めます。

なお、管理組合事務室が開いている間はいいのですが、それ以外の時間帯で「AED」が必要になった場合は下記まで連絡をしてください。

室番	氏名	電話番号	室番	氏名	電話番号
2	井上		4	緒方	
5	近藤		11	臼井	

AEDを用いた救命手当

- ① 肩をたたきながら声をかけます。
- ② 反応がなかったら、大声で助けを求め、119番通報とAEDの搬送を依頼します。
- ③ 気道確保と呼吸の確認を行います。
- ④ 普段通りの息（呼吸）がなかったら、人工呼吸を2回行います。
- ⑤ 人工呼吸が終わったらすぐに胸骨圧迫（心臓マッサージ）をします。
- ⑥ AEDが到着したら、まず電源を入れます。



ふたを開けると自動的に電源が入る機種もあります。

- ⑦ 電極パッドを胸に貼ります。



電極パッドを貼る位置は電極パッドに書かれた絵のとおり、また皮膚にしっかりと貼ります。

- ⑧ 電気ショックの必要性をAEDが判断します。



心電図解析中は誰も傷病者に触れてはいけません。

- ⑨ ショックボタンを押します。



誰も傷病者に触れていないことを確認したら、点滅しているボタンを押します。

以後は、AEDの音声メッセージに従います。

心肺蘇生とAEDの手順は、救急隊に引き継ぐか、何らかの応答や目的のある仕草が出現したり、普段通りの息が出現するまで続けます。